

令和7年度 職能局研修会 活動報告

日時：令和7年11月22日（土）13:00～16:30（受付12時45分～）

会場：山形県立保健医療大学 オンライン（ZOOM）

参加者：11名

内容：「理学療法の現場で困らない！対人コミュニケーションスキルアップ～信頼関係の構築から交渉・連携・育成の力を身に付ける～」

講師：矢口拓宇氏（日本カレッジ・リハビリテーション協会）

13:00 全体オリエンテーション

13:05 前半 講義開始 矢口拓宇氏

14:45 休憩

14:55 後半 講義開始 矢口拓宇氏

16:30 終了

研修会を終えて

参加者は11名でした。現地参加は5名、オンライン参加は6名でした。研修会には多くのワークショップが企画されていました。参加者は実体験としてコミュニケーションスキルのトレーニングを行う事ができました。参加者はベテランから中堅、若手と様々な悩みや課題を抱えながら、ワークショップに臨んでいました。多くの気づきや学びを得られたようです。

・リハビリ現場の現状と課題

個人スキルの向上だけではなく組織としての取り組みについて学びました。相手が主体的になる2ステップと4つのスキルを学び、基本的な会話術を学びました。

・感情コントロール技術

ストレスを感じた際に疲れにくい心になるための技術を学びました。コーピング、レジリエンス、リフレーミング、アンカリング、アフメーションの5つをワークショップ形式で学び、対象者とのコミュニケーションだけではなく、多職種にも応用可能な実行力が鍛えられました。

・多職種連携の会話術

相手を理解する事、ロールプレイングにて相手の気持ちを実感する事を学びました。どのような原因で相手に伝わらないのか、思うような結果にならないのか、相手の行動洗濯雄根源にある感情の機微を知ることができました。どのような状況においても対話を重視する事で、一方的なコミュニケーションを脱し、状況を動かすことができるようになることを学びました。

・部下育成の会話術

オープンダイアログ、心理的安全性、チームの人間関係を育む5段階、コーチングについて学びました。信頼関係を気付くほめ方はおだてにならないように調整する事が大事であり、その方法を学びました。

職場でも、家庭でも、様々な場面で実行できる内容となっており有意義な研修会となりました。

文責 多田雄一